

●令和5年度までのスケジュール

《令和5年度（中間見直し時期）までに取り組むべき事項》

方向性・テーマ	基本施策	実行プラン	参考となる取り組み	R1（9月～）	R2	R3	R4	R5		
中間年度見直し										
1 情報・知ろう	(1) 芸術文化活動の情報発信体制の充実	① 芸術文化活動情報発信の基盤整備	・芸術文化情報発信サイトの整備 など	サイトイメージに関する情報収集	→	サイトの基本機能整理	仕様書作成（機能詳細整理） 管理・運用の検討	アンケート配布・回収 内容検討 最終調整		
		② 芸術文化に関する情報内容の充実	・芸術文化情報誌の作成研修 ・広報「大野城」や大野城まどかびあ情報誌などの配架場所の増設 など	—	→	広報紙配架場所調査方法の検討	まどかびあと協議	情報の森整備協力	情報発信方法の確認、検討 プランに関する市ホームページの作成、公開	
2 参（加）行（う）	(1) 芸術文化に興味を持ち、誰もが体験・鑑賞できる環境づくり	① 誰もが体験・鑑賞できる環境づくり	・芸術文化に対するアクセシビリティの調査研究 など	芸術文化に対するアクセシビリティの調査研究の協議	→	芸術文化に対するアクセシビリティの調査研究の協議及び実施	芸術文化に対するアクセシビリティの調査研究の実施 ハンドブック作成、活用方法検討	ハンドブック周知	ハンドブック周知（芸術文化体験イベントの実施）	
		② 誰もが体験・鑑賞できる機会の創出	・各コミュニティセンターや公民館などでの芸術文化イベントの実施及び支援 ・市民参加型芸術文化事業の実施 など	—	→	—	まどかびあにおいて劇場体験プログラム等実施 情報収集、情報公開	ヒアリング対象・方法等の検討、実施支援の検討	身近な場所での芸術文化体験イベントの実施	
3 育（成）・育（て）か（う）	(1) 芸術文化の創造・継承活動への多面的な支援	① 若い世代の芸術文化活動の担い手の育成	・新たな芸術文化活動の場所の提供 ・多様なジャンルを体験できる機会の提供 など	—	→	—	ヒアリング・情報収集準備（一部情報収集）	ヒアリング対象・方法等の検討、実施支援の検討	多様なジャンルの体験ができるイベントの検討	
		② 芸術文化活動の企画・運営者（団体含む）への支援	・地域活性化交付金の活用 ・企業が行う芸術文化活動の活用 ・文化連盟運営補助事業 ・芸術助成事業（市民企画） など	文化連盟等の文化団体への支援	→	→	【文化連盟への支援】 文化連盟団体紹介ページの充実化 【支援方法の検討】 ヒアリング・情報収集準備（一部情報収集）	【支援方法の検討】 ヒアリング対象・方法等の検討、実施支援の検討	支援方法の検討	
4 連（携）・融（合）	(2) 芸術文化を活かす担い手と受け手をつなぐ機能の充実	① 芸術文化活動を支える人材の育成	・アートマネジメント研修会 など	—	→	—	—	人材育成の対象の明確化・研修の検討	ファシリテーター研修・レポーター研修（アートマネジメント研究）	
		② 芸術文化活動の担い手と受け手をつなぐ機能の充実	・（仮称）芸術文化よるす相談所の設置 など	—	→	—	—	芸術文化情報発信サイトの整備 ※サイト内の情報、機能で相談機能を補う。	サイトでの相談機能のあり方の検討	
5 資（源）活（か）そ（う）	(1) 芸術文化に関する多様な資源を活かす仕組みづくり	① 団体や芸術分野を超えた交流の促進	・活動団体や芸術分野を超えた交流イベントの実施 など	—	→	—	—	サイトを軸とした交流会の検討	サイトを軸とした交流会の検討	
		② 芸術文化を通じた「社会参加」「交流」の機会を広げる環境づくり	・障がい者アートと企業の連携 など	—	→	—	—	ヒアリング・情報収集準備（一部情報収集）	他分野のイベントでの芸術体験ワークショップの実施	他分野で芸術文化を取り入れた取り組みの情報収集 各分野での芸術文化事業支援
5 資（源）活（か）そ（う）	(1) 芸術文化に関する多様な資源を活かす仕組みづくり	③ 芸術文化の他分野への活用	・芸術文化を通じた部門間連携会議の設置 ・各分野におけるワークショップの開催 など	連携会議の設置・実施	→	→	【連携会議の実施】 【各分野におけるワークショップの開催】 アクセシビリティの調査研究における先進事例の調査及び本市での実施方法の検討	【連携会議の実施】 【各分野におけるワークショップの開催】 未実施	連携会議の実施	
		① 芸術文化活動を行う個人・団体の情報集約・ネットワークの構築	・芸術文化活動を行う個人・団体の情報集約 ・団体のネットワークを活かす仕組みづくり など	—	→	—	—	ヒアリング・情報収集準備（一部情報収集）	未実施	個人・団体の情報収集
		② 地域の特性を活かしたイベントの実施支援	・地域の特性を活かしたイベントの実施 ・「大野城心のふるさと館」を活用した学びの場の提供 など	—	→	—	—	ふるさと館つながる事業の活用方法の検討	未実施	ふるさと館を活用した事業の実施
5 資（源）活（か）そ（う）	(1) 芸術文化に関する多様な資源を活かす仕組みづくり	③ 芸術文化の活動場所の把握	・芸術文化活動ができる新たな施設、空きスペースの調査 など	—	→	—	—	未実施	活動場所の情報収集	

- 予定通り実施
- 別の方法で実施
- 一部未実施
- 未実施